



進路だよい

～将来の自立に向けて～

岐阜特別支援学校 令和7年7月

小学部の進路学習

小学部では、自分でできることを増やし「自立」へとつながるように、個々の実態に応じて様々な活動や支援を行っています。6年生は6月に「なかよし合宿をしよう」の学習活動で、宿泊棟で一泊しました。身の回りのことを自分で行うことをねらいに取り組みました。当日は、一人一人が今まで練習してきた成果を生かして、ご飯の買い物や、布団敷きを一人で行い、お風呂で自分の体を洗ったり、掃除をしたりして、精一杯取り組むことができました。家を離れての宿泊でしたが、マナーや約束を守り、路線バスに乗ったり、買い物をしたりと、仲間との楽しい合宿にすることができました。

自分自身の力でできることを増やし、公共の場での過ごし方などの様々な体験を積み重ね、将来への生き方の学習をしています。



中学部の進路学習

中学部では、将来につながる学習として、週3日午前中に作業学習を実施しています。6月から1年生も参加し、4つの作業班に分かれて3学年で力を合わせて作業に取り組んでいます。

作業学習の他にも、畑での野菜の栽培を通して、自分でできることを増やしたり、仲間とともに働いたりする経験を積んでいます。畑の石拾いから始まり、畝づくり、野菜の苗植え、草引き、水やりなどを経験しています。その苦労を思い出しながら収穫の喜びを体感してほしいと願っています。

これらの学習を通して、自分が頑張ったことや感じたことを「キャリアパスポート」として記録に残しています。キャリアパスポートを見て自分の成長を振り返り、将来について考えたり、将来への願いをもったりすることに活用していきます。



高等部の進路学習

高等部では、1年間に2回、就業体験を行っています。1年生では、校内で働くための基本的な態度を身に付けます。2、3年生になると、福祉事業所や一般企業での実習を積んで就労の機会をつかみ取っていきます。この体験で大切なことは、毎日元気に出勤できる、気持ちのよいあいさつができる、個に応じた方法でコミュニケーションが取れる、落ち着いて作業に取り組むことができる、指示通りに作業ができるなどです。今年度の校外実習の掲示や校外実習の受け入れ先の資料などが北舎1階にありますの

で来校の際には是非ご覧ください。配付されている「進路のしおり」とともに参考にしてください。

